

第1回「痛み医療開発研究会」 AWG ORIGIN[®]シンポジウム

PAIN MEDICAL DEVELOPMENT STUDY GROUP #1



福井 聖

愛知医科大学
痛み医療開発寄附講座
教授

PARTY

山口 治隆
徳島大学大学院医歯薬学研究部
総合診療医学分野
田村 裕
千葉大学大学院医学研究院
生命情報科学
小林 正学
岡崎ゆうあいクリニック院長

CONTACT INFO

〒480-1195
愛知県長久手市岩作雁又1-1
TEL: 0561-62-3311 (代表)
E-mail:
fukui.sei.639@mail.aichi-med-u.ac.jp
sec2937@mail.aichi-med-u.ac.jp

座長：福井 聖 先生

小林正学先生：がん治療と慢性腎臓病に対するAWG治療[®]の
取り組み

田村裕先生：AWG治療[®]による血流量変動等に関する臨床研究

山口治隆先生：線維筋痛症に対するAWG治療[®]

総合討論：20分

AWG治療の有効性を認めていただき、臨床・診療でトップランナーの立場でおられる先生方、大学で臨床研究として、サイエンス、EBMにも組み込んでいこうとチャレンジしていただいている先生方を招き、研究会を作って情報交換の場を、との提案が実現した第1回のシンポジウムです。

山口治隆先生（徳島大学総合診療医学分野）では、従来の治療で効果のない線維筋痛症などの病態に対して、総合診療の立場から、波動測定や波動治療に取り組んでおられます。

田村裕先生（千葉大学大学院医学研究院 生命情報科学）は、これまで、がんの光免疫治療・低周波治療に関する研究を行なってこられ、英語論文化されています。AWG ORIGINを用いた臨床研究も実施されて、現在、英文誌への投稿を準備中です。

小林正学先生（岡崎ゆうあいクリニック院長）はがんの治療をされながら、慢性腎臓病でAWG治療のデータをとっておられています。慢性腎臓病に対する治療の取り組みは、世界的にみても画期的なことかと思えます。

福井からは、コロナ禍でたくさんのCovid-19後遺症治療に取り組んでこられた西田先生の取り組みを少し紹介させていただきます。点でみなさまがんばってこられたこと、科学的な情報、臨床研究のノウハウをシェアして、力をあわせてPR、普及していけばと思っております。これまで書籍紹介、個々の体験談などはありましたが、医療関係者の皆さんが安心して治療できるプロトコルの第1歩として、しっかりとしたデータの蓄積やエビデンスをもとに、医療状況を改善していきたいと思っております。

この研究会をキッカケに、波動(量子)治療の可能性を科学的にアプローチすることが広まり、今後さらに多くの患者さまにAWG治療の恩恵がもたらされ、波動(量子)治療が日本発で世界に普及してゆけばとても素晴らしいことと思えます。現在AWG ORIGIN[®]を導入あるいは検討している医療関係者の皆さまにおかれましては、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

(なお、今回は対面での参加のみにしております)

- ・日時：10月28日、愛知医科大学医心館、多目的ホール1～3
- ・午後3時～5時 ・参加費無料

愛知医科大学 痛み医療開発寄附講座 主催